

2023年度 環境経営レポート



2023年度 (2023年4月～2024年3月)

発行日：2024年6月21日



エコアクション21
認証番号0006841

環境経営方針

<環境経営理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、印刷・同関連業の活動において、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減によって、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)

- ・電力(工場、事務所)
- ・自動車燃料(営業車・トラック)

工場においては、生産の効率化や歩留まりの向上に努め、営業所では、照明や冷暖房の管理を徹底していきます。また、省エネ製品を適宜採用し、エコドライブの推進等によって二酸化炭素の削減を図ります。

②廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)

- ・一般廃棄物(可燃ゴミ)
- ・産業廃棄物(金属・廃プラ・廃油・廃酸・廃アルカリ)

事業活動の過程で発生する廃棄物の抑制に努め、リサイクルの推進と、資源の有効活用を図ります。

③水使用量の削減(水資源の保全)

- ・一般水道水
- ・工程洗浄水

洗い物やトイレの使用、掃除などに於いて節水を心がける。
作業の無駄を省き、無駄な水を使わない。

④化学物質使用量の削減・管理

化学物質使用量削減のために、工程改善、環境負荷の小さい物質への代替化などに取り組んでいきます。

⑤グリーン購入の推進

⑥お客様に環境負荷の低減になるような提案をします。

- ・エコ商品の開発、拡販

⑦社会貢献

- ・地域での環境活動に積極的に参加します。

⑧事業継続(BCP)に取り組みます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. この環境方針を全社員に周知し、環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日： 2009年11月10日

改定日： 2020年 2月 1日

株式会社ロータリービジネス

代表取締役 渡邊 定道

□組織の概要

- 1) 事業所名及び代表者名
株式会社ロータリービジネス
代表取締役 渡邊 定道
- 2) 所在地
本社 : 〒665-0874 兵庫県宝塚市中筋8丁目21番38号
大阪営業所 : 〒561-0841 大阪府豊中市名神口1丁目8番16号
豊中工場
物流部 : 〒561-0841 大阪府豊中市名神口1丁目7番20号
神戸工場 : 〒651-2441 兵庫県神戸市西区上新地3丁目9番地の5
神戸営業所
- 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 製造部 有川 和久 TEL : 078-967-3111
担当者 荒井 幸一 TEL : 06-6864-8857
- 4) 事業内容
総合印刷、印刷物販売、関連事務用品の仕入販売
- 5) 事業の規模
製品出荷額 11億円(2023年度)

	本社	大阪 営業所 豊中工 場 物流部	神戸 営業所 神戸工 場	合計
従業員	4名	47名	40名	91名
延べ床面積	53㎡	2,267㎡	960㎡	3,280㎡

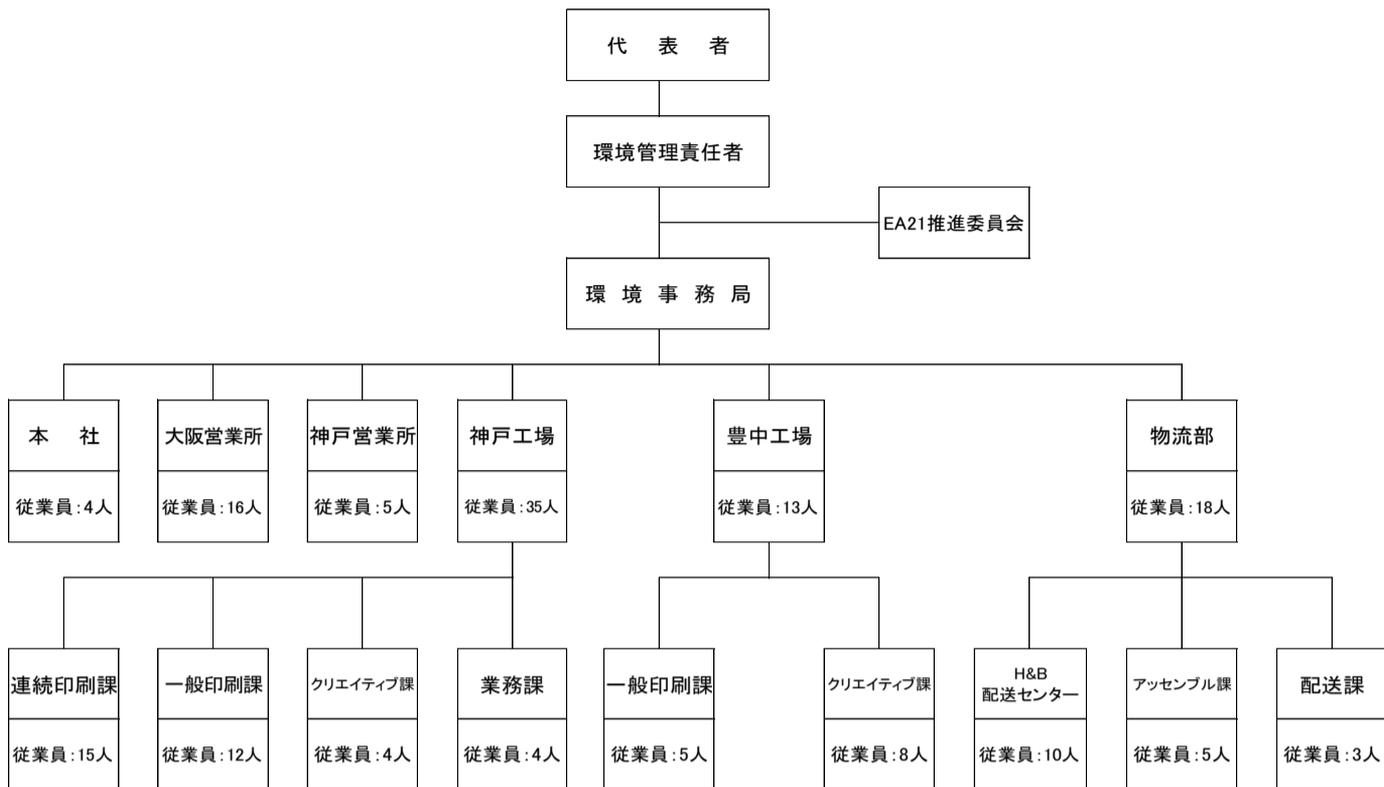
- 6) 事業年度 4月～3月

□認証・登録の対象組織・活動

対象組織名：株式会社ロータリービジネス
本社
大阪営業所・豊中工場、物流部
神戸工場・神戸営業所

活動：総合印刷、印刷物販売及び関連事務用品販売

□組織図



※正規従業員 69名 パート 22名

環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 環境目標・環境活動計画書を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境活動レポートの承認。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理。 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 環境目標・環境活動計画書を確認。 環境活動の取組結果を代表者へ報告。 環境活動レポートの確認。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境目標、環境活動計画書原案の作成。 環境活動の実績集計。 環境活動の取り組みに必要な手順書を作成する。 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）。
EA21推進委員会 環境管理責任者 環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 各部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 各部門の問題点の発見、是正、予防処置の検討。
各部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施。 自部門における環境方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 自部門の特定された緊急事態への対応のため、手順書を使ってテスト、訓練を実施する。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。 テスト、訓練を実施、記録の作成。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

□主な環境負荷の実績

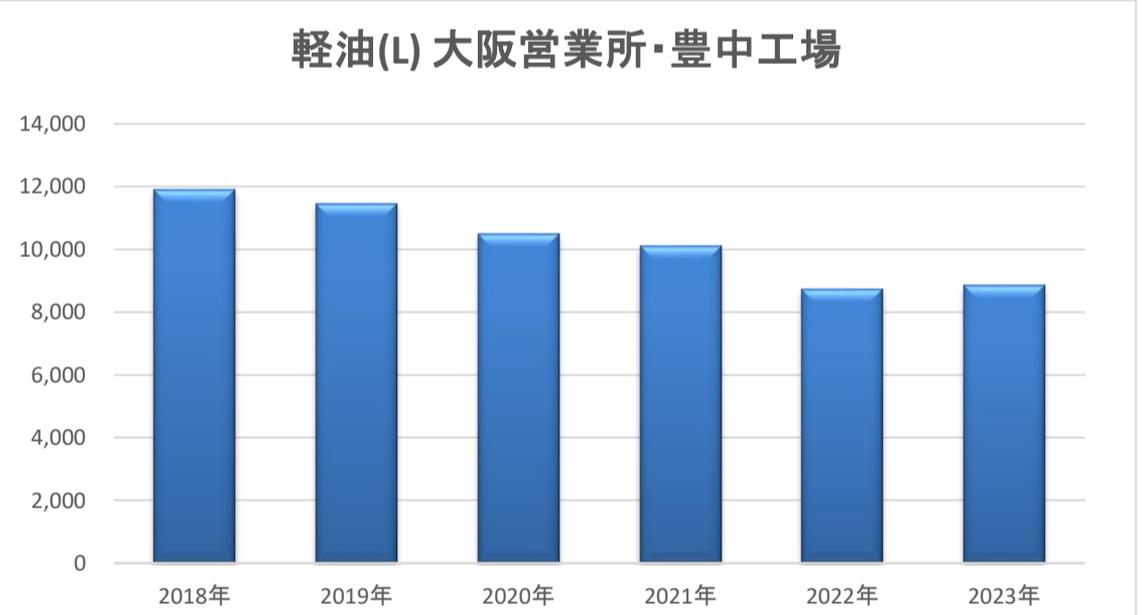
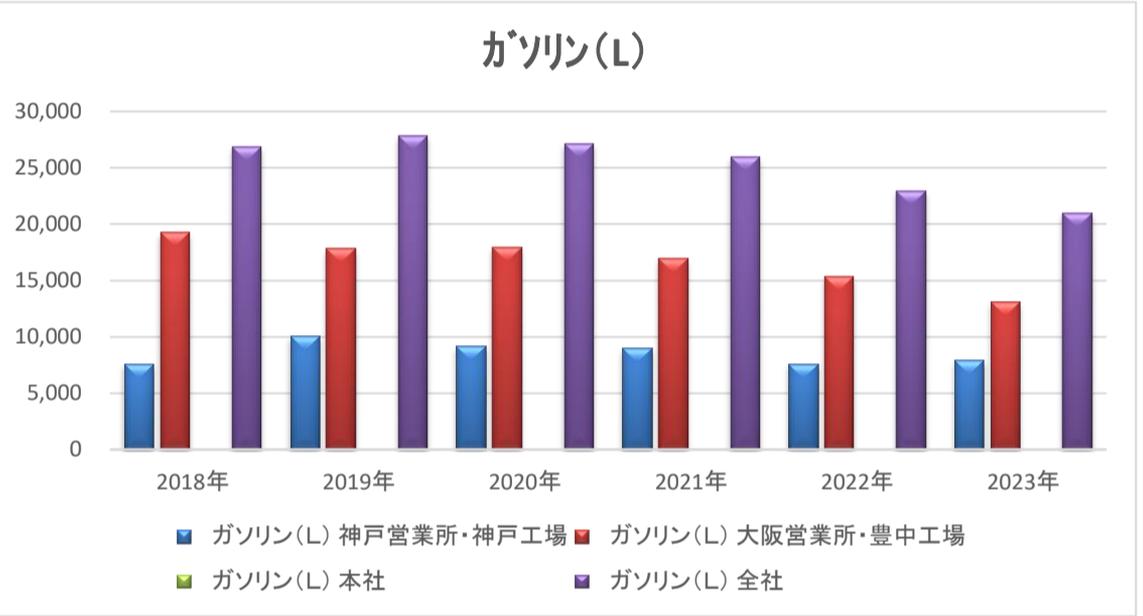
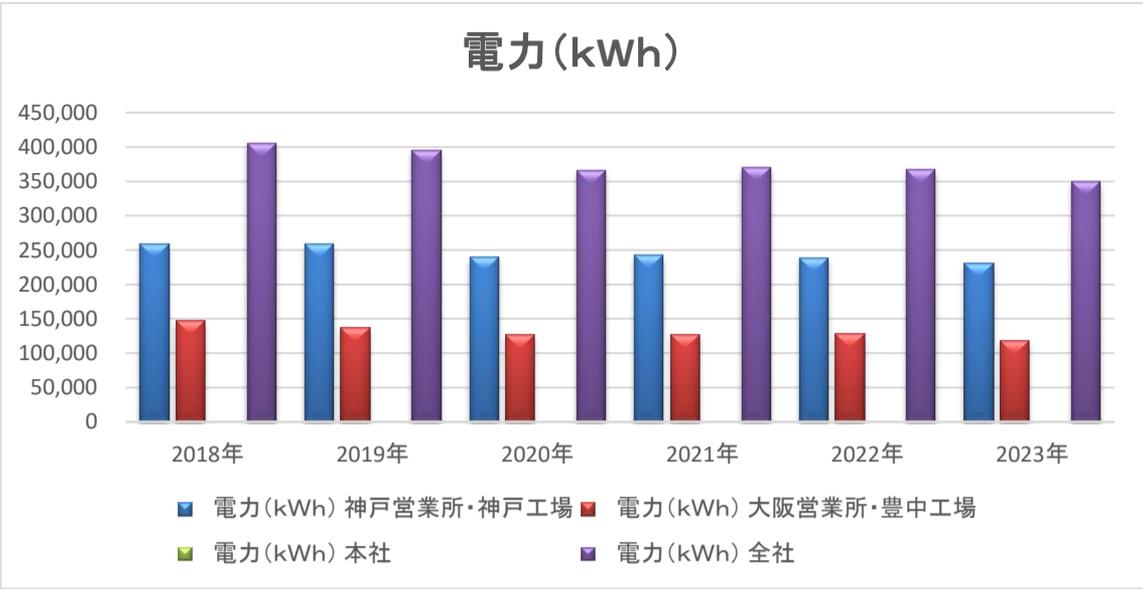
項目	単位	2011年 (基準年度)	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量 使用する二酸化炭素排出係	kg-CO ₂	371,085	301,607	282,378	280,526	268,270	255,119
廃棄物排出量 (合計)	トン	95.88	89.13	80.21	74.77	64.25	61.29
一般廃棄物排出量	トン	92.99	86.96	78.45	72.58	62.25	59.33
産業廃棄物排出量	トン	2.89	2.17	1.76	2.19	2.00	1.96
水使用量	m ³	1,050	867	880	738	723	633

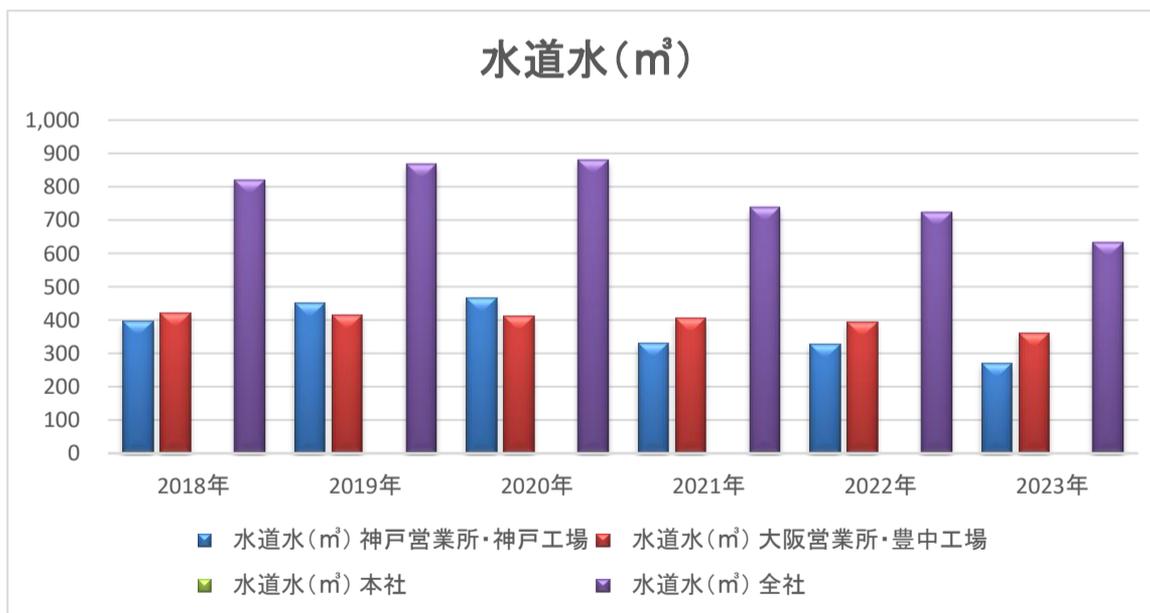
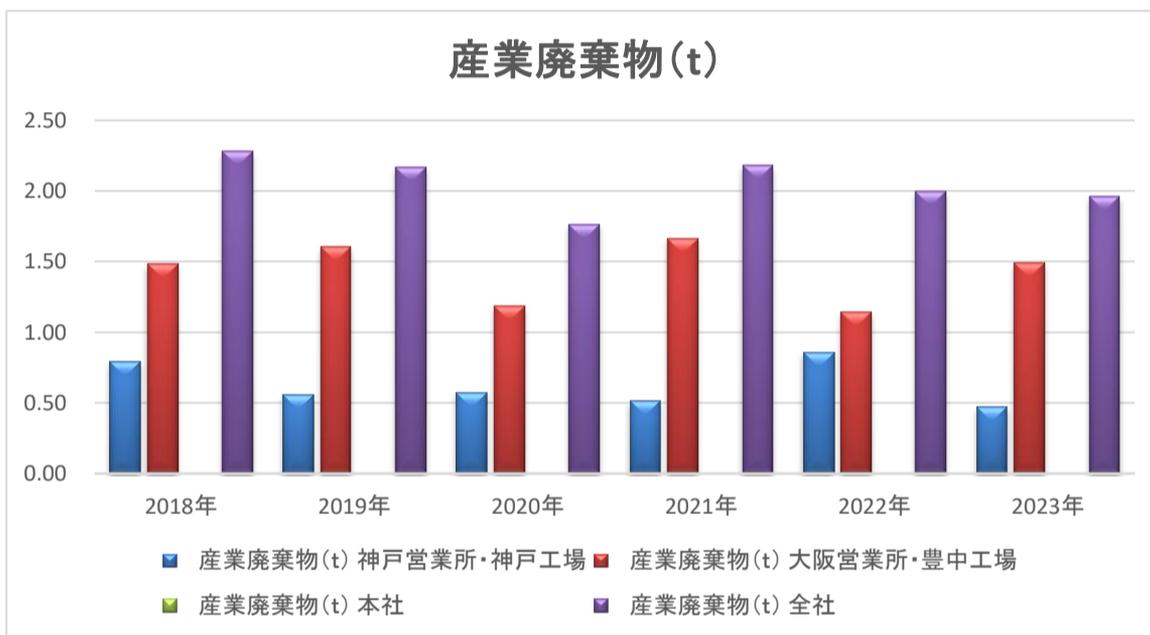
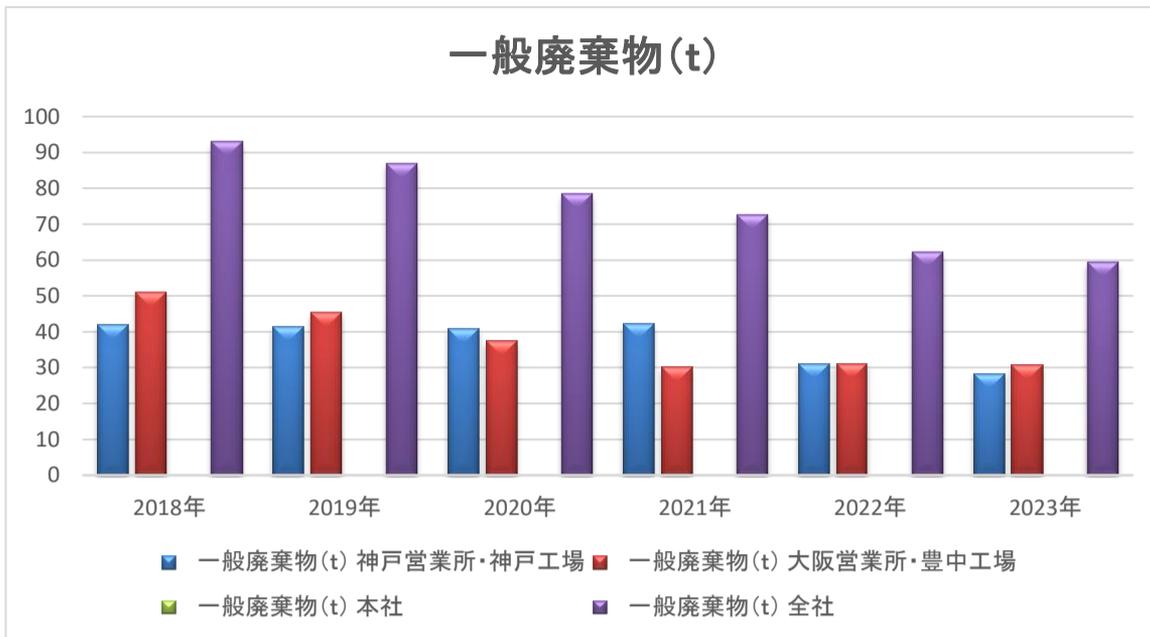
※電力の二酸化炭素排出量換算値(関西電力2014年調整後排出係数) 0.523 kg-CO₂/kWh(推移を見る為固定)

□環境目標及びその実績

項目	年度		基準値 (基準年度)	2023年度		2024年 (目標)	2025年 (目標)
				(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂ 基準年比	全社	243,364 2011年	205,285 84%	183,143 75%	205,285 84%	205,285 84%
		大阪営業所 豊中工場, 物流部	98,163 2011年	74,604 76%	62,257 63%	74,604 76%	74,604 76%
		神戸営業所 神戸工場	145,201 2011年	130,681 90%	120,886 83%	130,681 90%	130,681 90%
		本社	0 2011年	0 0%	0 0%		
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂ 基準年比	全社	127,721 2011年	97,629 76%	71,976 56%	97,629 76%	97,629 76%
		大阪営業所 豊中工場, 物流部	111,272 2011年	77,890 70%	53,663 48%	77,890 70%	77,890 70%
		神戸営業所 神戸工場	16,449 2011年	19,739 120%	18,313 111%	19,739 120%	19,739 120%
		本社	0 2011年	0 0%	0 0%		
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		371,085	302,914	255,119	302,914	302,914
一般廃棄物の削減	kg 基準年比	全社	92,985 2011年	83,540 90%	59,332 64%	83,540 90%	83,540 90%
		大阪営業所 豊中工場, 物流部	41,790 2011年	40,536 97%	30,832 74%	40,536 97%	40,536 97%
		神戸営業所 神戸工場	51,195 2011年	43,004 84%	28,500 56%	43,004 84%	43,004 84%
		本社	0 2011年	0 0%	0 0%		
産業廃棄物の削減	kg 基準年比	全社	2,890 2011年	1,612 56%	1,962 68%	1,612 56%	1,612 56%
		大阪営業所 豊中工場, 物流部	800 2011年	776 97%	1,490 186%	776 97%	776 97%
		神戸営業所 神戸工場	2,090 2011年	836 40%	472 23%	836 40%	836 40%
		本社	0 2011年	0 0%	0 0%		
水道水の削減	m ³ 基準年比	全社	1,050 2011年	895 85%	633 60%	895 85%	895 85%
		大阪営業所 豊中工場, 物流部	501 2011年	401 80%	363 72%	401 80%	401 80%
		神戸営業所 神戸工場	549 2011年	494 90%	270 49%	494 90%	494 90%
		本社	0 2011年	0 0%	0 0%		
化学物質の使用量削減	kg 基準年比	全社	910 2011年	755 83%	23 3%	755 83%	755 83%
グリーン購入の推進	% —		—	50%	51%	50%	50%
環境配慮製品の販売促進				クレーム件数 の実態把握	実態把握 完了	基準年度以下 にする	左記の 継続
事業継続(BCP)取り組み				BCP対応マニュアル策定に向けて継続的に進めている			

本社(登記上:4人)はテナントビルにつき環境目標の定量把握は出来ないが、省エネ活動、廃棄物削減、節水、環境関連法規制遵守のE A21活動は行っている。





□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	○	目標達成。前年度と比べて若干数値はよくなっているの で、さらなる削減に向けて節電に努める。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	△	
・不要照明の消灯	○	
・クールビズ・ウォームビズ	○	
・設備の空運転防止	○	
・工程ロス削減による稼働時間短縮	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	○	全社では目標達成。営業、配送ともに再度教育を行い、 引き続きCO2削減に取り組んでいく。
・アイドリングストップ	△	
・急加速・急停車の防止	○	
・無駄な荷物を載せない	○	
・移動が最短距離になるように計画する	△	
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	目標達成。従業員が一番身近に心掛けれることなので、 次年度はさらに一般廃棄物の削減に努める。
・裏紙使用	△	
・ミスコピーの防止	○	
・分別による古紙のリサイクル化	○	
・マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動の推進	△	
産業廃棄物の削減		
数値目標	×	目標達成ならなかったが、次年度は大幅に削減の見込 み。
・分別の実施	○	
・作業ミスの分析	△	
・作業ミス防止の改善	△	
化学物質の使用量削減		
数値目標	○	環境負荷の小さい物質への代替化ができています。
・環境負荷の小さい物質への代替化	○	
・工程ロスを防ぎ化学物質を削減	○	
・年間使用量の把握	○	
水道水の削減		
数値目標	○	目標達成。次年度も全社でさらなる節水を心掛けてい く。
・洗い物やトイレの使用、掃除などにおいても節水を心がける。	○	
・作業の無駄を省き、無駄な水を使わない。	△	
グリーン購入の推進		
数値目標	○	購入品は最小限に抑えたが、適合品も少なくなってい ました。
・グリーン購入対象事務用品への入替え	△	
環境配慮製品の販売促進		
数値目標（検討中）	○	2022年のクレーム件数を完全に把握できていないため、 2023年度においてクレーム件数を把握し以後の数値目標 を2023年度を基準年度とし、以下になるように目標設定 する。
・生産くクレーム件数0を品質目標とし、品質 向上に努める。	△	
社会貢献（環境目標対象外）		
・会社周辺の清掃活動	○	全社員で地域清掃を行うことにより、エコへの意識付け が来ているので継続して実施する。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

大阪営業所・豊中工場・物流部

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正分別保管、委託契約処分、産業廃棄物の委託契約（運搬・処分）、適正分別保管、マニフェスト管理、行政への報告
消防法（危険物）	防火管理者、消防設備（火災報知機、消火器）の定期点検1回/年
フロン排出抑制法	業務用空調機の点検・記録・保存（簡易点検1回/3ヶ月）
自動車リサイクル法	営業用乗用車、配送用トラックの廃棄時の再資源化
自動車NOx・PM法	配送用トラックの規制適合車の使用
化学物質排出把握管理促進法	キシレン、トリメチルベンゼンの排出量、移動量の把握
労働安全衛生法	安全衛生推進者 リスクアセスメント実施と教育・周知
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫の廃棄時の適正引渡（リサイクル化）

神戸営業所・神戸工場

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正分別保管、委託契約処分、産業廃棄物の委託契約（運搬・処分）、適正分別保管、マニフェスト管理、行政への報告
消防法（危険物）	防火管理者、消防設備（火災報知機、消火器）の定期点検1回/年
フロン排出抑制法	業務用空調機の点検・記録・保存（簡易点検1回/3ヶ月）
自動車リサイクル法	営業用乗用車の廃棄時の再資源化
自動車NOx・PM法	配送用トラックの規制適合車の使用
化学物質排出把握管理促進法	キシレン、トリメチルベンゼンの排出量、移動量の把握
労働安全衛生法	安全衛生推進者 リスクアセスメント実施と教育・周知
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫の廃棄時の適正引渡（リサイクル化）

本社

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正分別保管、委託契約処分
消防法（危険物）	火災報知機、消火器の点検・記録・保存
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫の廃棄時の適正引渡（リサイクル化）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

数値については年々改善されているが、近年の資材や光熱費の価格高騰で圧迫されており、よりエコ活動の充実を図らなければならない。
 2024年8月にはCTP機を無処理版に入れ替えることにより、廃液の大幅な削減を見込む。
 方針、目標・計画、実施体制の変更の必要性はない。

□環境活動の紹介 事務所周辺の道路の清掃活動を行っています。

